

# 聖学院大学心理福祉学部 実務経験のある教員による授業科目一覧

心理福祉学科：18単位

No	科目名称	履修学年	単位数	教員氏名	実務経験	授業内容または授業概要
1	発達心理学	2	2	渡邊 孝継	臨床発達心理士・公認心理師	<p>教育・福祉分野において臨床発達心理士・公認心理師として勤務し、発達教育支援センター、自治体内教育委員会、自治体内保健センター、大学臨床、スクールカウンセラー、特別支援学校、学生相談などでの心理相談・訪問相談・直接支援の経験をもとに、発達心理学の理論的な知見を教授する。</p> <p>生涯発達の観点から、人間の誕生から死に至るまで変化の諸相を理解し、発達支援の実践にむすびつけるにはいかにしたらよいか考察していけるようにする。発達のメカニズムを考えながら、発達の課題について理解していく。</p> <p>人間の行動や心的な諸機能の発達は、どのような過程をたどるものか、また、どのようなメカニズムによってもたらされるのか、生涯発達の視点から人間の発達について学習する。また、発達の諸相と原理を理解した上で、心理職としてできる発達支援についても考えていく。</p>
2	児童心理学	2	1	村上 純子	スクールカウンセラー	<p>小学校でのスクールカウンセラー経験及び心理相談室にて、児童とその家族の心理的支援を行い、児童とその家族の心理的支援の経験をもとに、児童の発達と家族の与える影響についての現代的課題について言及し、心理士の観点から理論的・実践的知識を教授する。</p> <p>児童期の発達段階においてどのような課題が存在するか、また、その課題の達成のために、児童がどのような能力や資源を有しているか学ぶ。</p> <p>こどもは、家庭・学校・職場などの集団の中で生きていく存在である。多様な社会文化的環境において、こども、特に児童は経験を積み重ね、独自の生き方を模索する。心身の成熟とともに個人差をもたらす、認知的・情動的・社会的な要因について学ぶ。 ※「認定心理士」資格では、「選択科目目」（教育心理学・発達心理学）に区分される科目である。</p>
3	ソーシャルワーク演習A（精神）	3	2	小沼 聖治	ソーシャルワーカー（精神科ソーシャルワーカー/精神保健福祉士）	<p>地域の障害福祉サービス等事業所に所属する精神保健福祉士として、精神障害当事者や家族の相談支援に携わり、精神障害者や家族に対する相談支援の経験を踏まえ、ソーシャルワーカーとしての生活支援のあり方について言及し、専門的な援助技術を理論的・実践的に教授する。</p> <p>精神保健福祉援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、精神障害者の生活や生活上の困難について把握し、精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。</p> <p>① 総合的かつ包括的な相談援助、医療と協働・連携する相談援助に係る具体的な相談援助事例を体系的にとりあげること。</p> <p>② 個別指導並びに集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を中心とする演習形態により行うこと。</p> <p>① 次に掲げる具体的な課題別の精神保健福祉援助の事例（集団に対する事例を含む。）を活用し、実現に向けた精神保健福祉課題を理解し、その解決に向けた総合的かつ包括的な援助について実践的に習得すること。（社会的排除、退院支援、地域移行、地域生活継続、ピアサポート、地域における精神保健（自殺、ひきこもり、児童虐待、薬物・アルコール依存等）、教育、就労（雇用）、貧困、低所得、ホームレス、精神科リハビリテーション、その他の危機状態にある精神保健福祉）</p> <p>② 次に掲げる事例を題材として、次に掲げる具体的な相談援助場面及び相談援助の過程を想定した実技指導を行うこと。（インテーク（受理面接）、契約、アセスメント（課題分析）、プランニング（支援の計画）、支援の実施、モニタリング（経過観察）、効果測定と支援の評価、終結とアフターケア）</p> <p>③ イの実技指導に当たっては、次に掲げる内容を含めること。（アウトリーチ、ケアマネジメント、チームアプローチ、ネットワークング、社会資源の活用・調整・開発）</p>
4	ソーシャルワーク実習指導I（精神）	3	1	小沼 聖治	ソーシャルワーカー（精神科ソーシャルワーカー/精神保健福祉士）	<p>地域の障害福祉サービス等事業所に所属する精神保健福祉士として、精神障害のある方々の生活支援に取り組んだ実務経験を活かし、精神保健福祉分野の最新動向をふまえて、専門職として求められる倫理・価値及び実践的な知識・技術を教授する。</p> <p>① 精神保健福祉援助実習の意義について理解する。</p> <p>② 精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について理解する。</p> <p>次に掲げる事項について個別指導及び集団指導</p> <p>① 精神保健福祉援助実習と精神保健福祉援助実習指導における個別指導及び集団指導の意義</p> <p>② 精神保健福祉援助実習の現状（利用者理解を含む。）に関する基本的な理解</p> <p>③ 実際に実習を行う施設・機関・事業者・団体・地域社会等に関する基本的な理解</p> <p>④ 現場体験学習及び見学実習</p> <p>⑤ 実習先で必要とされる精神保健福祉援助に係る専門的知識と技術に関する理解</p> <p>⑥ 精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務に関する理解</p> <p>⑦ 実習における個人のプライバシー保護と守秘義務の理解（個人情報保護法の理解を含む。）</p> <p>⑧ 「実習記録ノート」への記録内容及び記録方法に関する理解</p> <p>⑨ 実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画の作成</p>

# 聖学院大学心理福祉学部 実務経験のある教員による授業科目一覧

心理福祉学科：18単位

No	科目名称	履修学年	単位数	教員氏名	実務経験	授業内容または授業概要
5	公認心理師の職責	2	2	和氣 大成	臨床心理士・公認心理師	医療、教育分野において臨床心理士・公認心理師として勤務し、総合病院、単科精神科病院、クリニック、学校などに勤めた経験をもとに、心理支援の理論的・実践的な知識を教授する。 公認心理師に必要な、公認心理師の役割、公認心理師の法的義務及び倫理、心理に関する支援を要する者の安全の確保、情報の適切な取扱い、保健医療、福祉、教育その他の分野における公認心理師の具体的な業務、自己課題発見・解決能力、生涯学習への準備、多職種連携及び地域連携の知識を身につけ、それらを説明できるようになることを目標とする。 職業倫理と自己研鑽を職責論・職能論の原理と捉え、倫理の問題と自己研鑽の問題について中心的に扱う。そのうえで、原理の応用として各分野における業務を理解し、「態度」という臨床心理学的援助において基本的な問題について理解を深める。
6	ソーシャルワークの基盤と専門職(社会)	2	2	小沼 聖治	精神保健福祉士	精神保健福祉士として、障害福祉サービス等事業所で9年間の実務経験があり、精神障害者や家族に対する相談支援の経験をふまえ、ソーシャルワーカーとしての生活支援のあり方について言及し、専門的な援助技術を理論的・実践的に教授する。 ①社会福祉士の職域と求められる役割について理解する。 ②ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について理解する。 ③ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と連関性について理解する。 ④総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解する。 ①ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲 ②ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク ③総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容
7	ソーシャルワークの理論と方法B	2	2	赤畑 淳	ソーシャルワーカー(精神科ソーシャルワーカー/精神保健福祉士)	精神科医療機関でソーシャルワーカー(精神科ソーシャルワーカー/精神保健福祉士)としての実務経験を踏まえ、精神保健医療福祉の実際について言及し、専門職として求められる倫理・価値及び実践的な知識・技術を教授する。 ①人と環境との交互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて理解する。 ②ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて理解する。 ③ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術について理解する。 ④コミュニティワークの概念とその展開について理解する。 ⑤ソーシャルワークにおけるスーパービジョンについて理解する。 ①人と環境との交互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク ②ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチ ③ソーシャルワークの過程 ④ソーシャルワークの記録 ⑤ケアマネジメントの原則と意義 ⑥集団を活用した支援 ⑦コミュニティワークの概念とその展開 ⑧ソーシャルワークにおけるスーパービジョン
8	精神障害リハビリテーション論	2	2	小沼 聖治	精神保健福祉士	精神保健福祉士としての精神障害者や家族に対する相談援助の経験を踏まえ、ソーシャルワーカーとしての生活支援のあり方について言及し、専門的な援助技術を理論的・実践的に教授する。 ①精神障害リハビリテーションの概念とプロセス及び精神保健福祉士の役割について理解し、援助場面で活用できる。 ②精神障害リハビリテーションプログラムの知識を援助場面で活用できる。 ③精神障害リハビリテーションの実施機関と精神障害リハビリテーションプログラムの関連について理解し、援助場面で活用できる。 ①精神障害リハビリテーションの理念、定義、基本原則 ②精神障害リハビリテーションの構成及び展開 ③精神障害リハビリテーションプログラムの内容と実施機関 ④精神障害リハビリテーションの動向と実際

## 聖学院大学心理福祉学部 実務経験のある教員による授業科目一覧

心理福祉学科：18単位

No	科目名称	履修 学年	単 位数	教員氏名	実務経験	授業内容または授業概要
9	社会保障論	2	4	元田 宏樹	地方公務員	<p>都道府県職員として福祉行政に携わった実務経験を活かし、社会保障の各制度について具体的事例をあげて授業を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 社会保障の概念や対象及びその理念について、社会保障制度の展開過程も含めて理解する。</li> <li>② 現代社会における社会保障制度の役割と意義、取り組むべき課題について理解する。</li> <li>③ 社会保障制度の財政について理解する。</li> <li>④ 公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する。</li> <li>⑤ 社会保障制度の体系と概要について理解する。</li> <li>⑥ 諸外国における社会保障制度の概要について理解する。</li> </ul> <p>① 現代社会における社会保障制度の現状（少子高齢化と社会保障制度の関係を含む。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>② 社会保障の概念や対象及びその理念</li> <li>③ 社会保障と財政</li> <li>④ 社会保険と社会扶助の関係</li> <li>⑤ 公的保険制度と民間保険制度の関係</li> <li>⑥ 社会保障制度の体系</li> <li>⑦ 諸外国における社会保障制度</li> </ul>